国民健康保険特別会計予算

反対 小野曜子議員

国保は新制度に移行し、国が国庫の投入を増額し、町が資産割部分を廃止したため大半の加入者の税は下がる。しかし今後は県への納付金制度などの新たな仕組みから、公的医療費の抑制、一般会計からの繰り入れの抑制、その他で税の引き上げが懸念されるため反対する。

反対 1

賛成 室井髙男議員

昨年町民が支払った一人当たりの医療費は県内最低の支払額に抑えられた。しかし、医療費は年々伸び続けており今後も厳しい財政状況が続くと思われる。予期せぬ医療費が支出に加わる可能性もあり、安定した収支のバランスが重要であり本案に賛成する。

賛成 11

後期高齢者医療特別会計

反対 小野曜子議員

９年前に制度が施行されて以来、７５歳以上の方々は重い保険料の自己負担に苦しんできた。低所得者の保険料軽減措置縮小・廃止の動きも懸念され、反対する。

反対 1

賛成 大森政美議員

本予算は、高齢化社会が急速に進む中、高齢者に対する医療・介護サービス等の維持向上を図るため高齢者に対する医療制度が見直され、平成２４年４月に制度が施行された。歳入については別紙、徴収保険料等で、歳出については広域連合交付金等必要な経費計上であり賛成する。

賛成 11

介護保険特別会計

反対 小野曜子議員

介護保険料がまた引き上げになる。３年前に第一号保険者基準額は月５０２１円となり、２４％も引き上げられ、それから３年たち、今期も５８０６円、15，6％もの引き上げである。保険料を上げるのではなく、町は財政投入して少しでも引き下げるべきであり、反対する。

反対 1

賛成 荒木三朗議員

介護保険給付の原資は税金と介護保険料の折半で運営され、第７期は設計では６０１５円となるが、実際の保険料は５８０６円で基金からの繰り入れや、被保険者の負担能力に応じた負担割合を設定している。基準以下の所得者には軽減措置があり賛成する。

賛成 11

観光事業特別会計

反対 小野曜子議員

ファミリースキー場は指定管理とはいえ、町が責任を持つべき事業として観光増進に結び付けた議論や運営努力への指導がなされる必要がある。２年前、指定管理制度への移行を反対した流れからも、本予算には反対する。

反対 1

賛成 茅野　健議員

那須温泉ファミリースキー場は、那須未来（株）が指定管理者として職員の雇用促進や、民間の力を活用した行政直営ではできないサービスなどで効果が出てきているところである。

今後は、安全面での強化、サービスの更なる向上、そして町内の小中学生徒の冬場の貴重な体力増強の場・情操教育の場としての役割がさらに増すことを期待して賛成する。

賛成 11